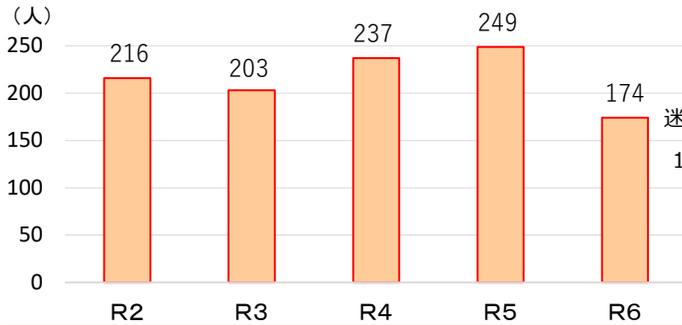
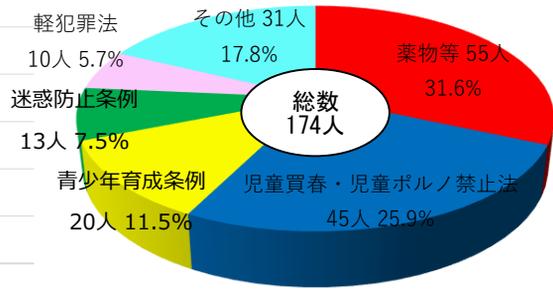


# 特別法犯少年の検挙状況

《特別法犯少年検挙人員の推移》



《違反法令別の状況》



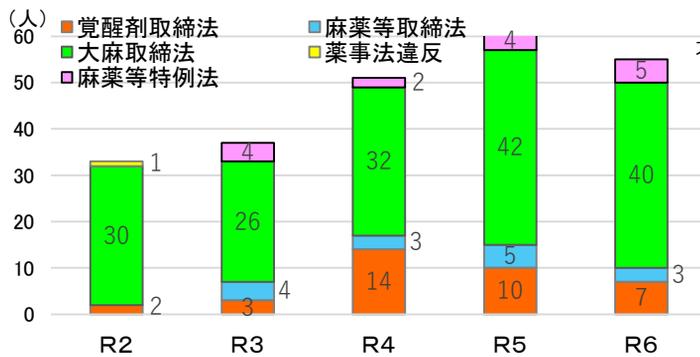
◆ 特別法犯少年の検挙人員は前年と比較して減少

・令和6年中の特別法犯少年の検挙人員は174人(前年比-75人)と減少しています。

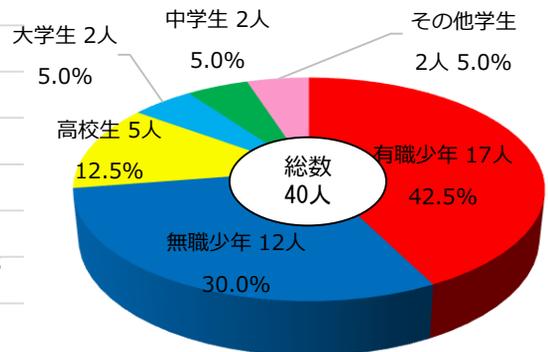
◆ 違反法令別では、薬物事犯が最も多い

・違反法令別では、薬物事犯が55人(同-6人)、児童買春・児童ポルノ禁止法違反が45人(同-42人)などとなっています。

《薬物乱用少年の推移》



《大麻乱用少年の学職別の状況》



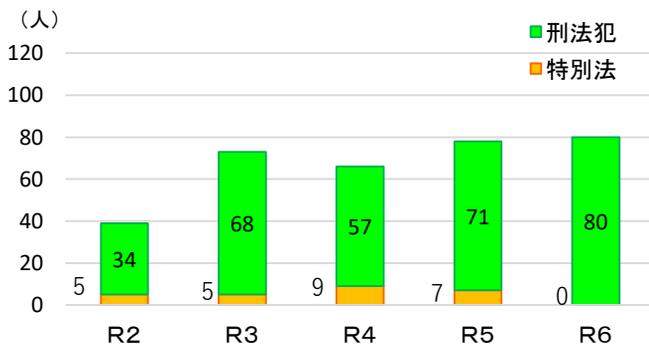
※ 薬物乱用少年とは、主たる犯罪が薬物事犯で検挙された少年をいう。

◆ 薬物事犯の検挙人数は前年から減少しているものの、高水準で推移

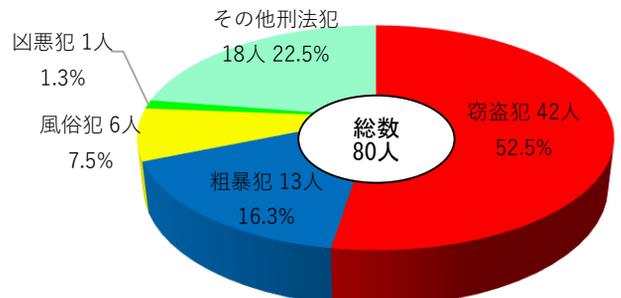
- ・令和6年中の覚醒剤や大麻などの薬物乱用少年は、55人(前年比-6人)と減少しています。
- ・大麻は40人(同-2人)と減少しているものの、高水準で推移しています。
- ・大麻乱用少年を学職別にみると、有職少年が17人(同-3人)と最も多くなっています。

# 触法少年の補導状況

《触法少年補導人員の推移》



《罪種別等の状況》



※ 触法少年とは、刑罰法令に触れる行為をした14歳未満の少年をいう。

◆ 触法少年の補導人員は増加し、高水準で推移

- ・令和6年中の触法少年の補導人員は80人(前年比+2人)で、すべて刑法犯による補導となっています。
- ・罪種別では、窃盗犯が42人(同+1人)で最も多くなっています。